



「ビジネスEXPO2025」展示ブースの様子。

装具ユーザーの継続的な支援体制の構築を目指す

有限会社テックワークスはクラウド等のインターネットインフラ設計やIT化におけるコンサルティング、設計、開発を手がけている。同社は医療・福祉分野におけるICT活用を目指し、クリエイティブ・ディレクターの弓野さんを中心に数年の試行錯誤を経て、装具ユーザーの生活を支えるデジタルサービスを開発した。

装具ユーザーは装具の適合状態や身体の変化を継続的に確認する必要があるが、医療機関や義肢装具製作会社、介護事業所など複数の関係者が関わるため、情報共有やフォローアップが十分に行われないケースも多い。課題解決に向け、同社はスマートフォンアプリ「デジタル装具手帳」を開発した。本アプリは装具の情報やメンテナンス履歴をスマートフォンで管理できるほか、AIによる歩行解析や歩数計機能を活用して日々の歩行状態を記録・可視化できる仕組みを持つ。さらに、装具ユーザーだけでなく関係機関が情報を共有することで、遠隔地においても装具の状態確認と適切なフォローアップが可能となる。

多職種連携機能の実装により装具管理の新たな仕組みを構築

本事業では、アプリ「デジタル装具手帳」に多職種連携機能を実装し、装具ユーザーを中心に医療機関・介護事業所・義肢装具製作会社が同じ情報を見ながら支援できる仕組みを整備した。ユーザーは装具情報やメンテナンス履歴をアプリで管理でき、AI歩行解析（歩幅や股関節伸展角度の数値化）と歩数計で日々の歩行を“見える化”できる。記録した動画・画像は同期機能でバックアップでき、機種変更時もデータを引き継げる。共有された歩行や装具の変化を手がかりに、専門職が遠隔でも状況を把握し、受診や調整、再作製の判断につなげることが可能となった。

実証実験を通じて、多職種協働のデジタル基盤として有効性を確認し、装具管理の標準化と地域をまたぐ支援体制の拡張に向けた足がかりを得た。アプリはiPhone版に加えAndroid版も提供が開始され、利用者層の拡大が期待される。今後は連携先の増加と運用ルールの整備に取り組むことで、装具ユーザーの「誰に相談すればよいかわからない」という不安を減らし、生活の質向上を支える新たな支援の仕組みづくりを進める。



来場者にアプリの説明をする弓野さん。



アプリ「デジタル装具手帳」の画面イメージ。



多職種連携機能を実装。医療機関などとの連携が実現した。

responsible party

医療業界外からできることを

患者さんと真摯に向きあう業界の方々と関わることができ、大変刺激になりました。装具ユーザーに寄り添う製品となるよう、今後も更なる改善に努めます。



クリエイティブ・ディレクター／弓野 詩苑

アイデアと技術で人にやさしい情報社会を創る | より良い情報サービスを追求し、システム提案、ソフトウェアやアプリの開発、維持管理を実施。

有限会社テックワークス

札幌市西区琴似2条6丁目1-10 ユアーズビル207 TEL 011-616-5622
設立：平成15年3月 従業員数：9名 代表者：代表取締役 鈴木 卓真

URL <https://techworks.co.jp>

